

# 平成 28 年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要について

横須賀市教育委員会

平成 28 年 4 月 19 日（火）に小学校 6 年生・中学校 3 年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、本市の児童生徒の学習・生活状況の概要についてお知らせします。

横須賀市では、本調査について、限られた教科および学年での実施であることやそれぞれの設問が学習指導要領で定められている学習目標・内容の全てを網羅するものではないことから、調査結果が学力すべてを表すものではなく、学校教育活動の一側面を示すものと考えています。しかし、一側面ではあるものの、本調査結果を児童生徒の学習状況や生活状況を把握するための資料の一つと捉え、今後の市の教育施策の充実や学校における児童生徒の個性や能力に応じた学習指導の改善のためにしっかりと役立てていきたいと考えています。

## I 調査の趣旨

### (1) 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図り、検証改善のサイクルを確立する。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

### (2) 調査内容

#### ①教科に関する調査（国語、算数・数学）

##### \*主として「知識」に関する問題（A問題）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能

##### \*主として「活用」に関する問題（B問題）

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力

#### ②児童生徒に対する質問紙調査

- \*学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### (3) その他

調査結果については、序列化や過度な競争につながらないようにするため、各学校の結果については、市としても各学校としても公表はいたしません。

## Ⅱ 横須賀市小学校の結果

### 1. 教科別平均正答率結果

(%)	国 語		算 数	
	A	B	A	B
横須賀市	67.1	54.7	75.3	43.2
神奈川県	70.3	58.2	76.6	47.3
全 国	72.9	57.8	77.6	47.2

### 2. 各教科の概要

#### 【小学校 国語】

##### <おおむね理解しているとみられる内容>

- 目的や意図に応じて話し合うこと (A問題<sup>2</sup>)

目的や意図に応じて収集した情報を関係付けながら話し合うことは、おおむね良好である。

- 目的に応じて、図と表とを関係付けて読むこと (A問題<sup>5</sup>)

目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらを関係付けて読むことは、おおむね良好である。

##### <課題があるとみられる内容>

- 漢字やローマ字を正しく読んだり、書いたりすること (A問題<sup>1</sup>、A問題<sup>8</sup>)

学習した漢字について、文や文章の中で適切に使うことに課題がある。

- 目的や意図に応じて、書く事柄を整理すること (A問題<sup>4</sup>)

取材した事柄を文章の構成や記述に役立つよう全体を見通して整理することに課題がある。

- 目的や意図に応じて、自分の考えを書くこと (B問題<sup>2</sup>二(2))

目的や意図に応じ、グラフや表を用いて自分の考えが伝わるように工夫して文章を書くことに課題がある。

- 目的に応じて、自分の考えを明確にしながら読むこと (B問題<sup>3</sup>三)

目的に応じ、複数の本や文章を比べ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。

## 【小学校 算数】

### <おおむね理解しているとみられる内容>

□数の大小関係の理解に関すること（A問題<sup>3</sup>（2））

小数の仕組みと数の相対的大きさに関する理解については良好である。

□三角形の底辺と高さの関係の理解に関すること（A問題<sup>5</sup>）

三角形の底辺と高さの関係を適切に捉える力については良好である。

### <課題があるとみられる内容>

■小数の除法の理解に関すること（A問題<sup>1</sup>（2））

小数の除法の計算の仕方の理解に課題がある。

■小数の計算をすること（A問題<sup>2</sup>（2））

小数の減法において、位を揃えて計算することに課題がある。

■用いられている考えを別の場面に適用すること（B問題<sup>1</sup>（2））

示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、説明する力に課題がある。

■言葉や式を用いて理由を説明すること（B問題<sup>3</sup>（2））

示された情報を基に、筋道を立てて考え理由を述べる力に課題がある。

### 3. 児童質問紙調査（小学校6年生）の結果概要

#### （1）概要

〔90%以上が肯定的な回答をした項目〕

- 朝食を毎日食べている
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる
- 家で学校の宿題をしている
- 学校で友達に会うのは楽しい
- 学校で好きな授業がある
- 学校のきまりを守っている
- 友達との約束を守っている
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 人の役に立つ人間になりたい

〔課題と見られる項目〕\*全国平均と比較し、5%以上の差（低い）がある項目

- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している
- 普段の勉強時間が1時間以上である
- 休日の勉強時間が1時間以上である
- 図書館に週に1～3回以上行く
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている
- 家で学校の授業の復習をしている
- 今住んでいる地域の行事に参加している
- 新聞を読んでいる
- 読書が好きである

※下線を引いた設問は中学校と同じ状況の設問

#### （2）質問紙調査からみられる傾向と課題

##### 【家庭生活・家庭での過ごし方】

- ・日常の生活習慣については、全国と比べ5%以上差が開く項目はなく、改善している。
- ・読書への関心や新聞を読む習慣に課題がある。

##### 【家庭学習】

- ・平日・休日とも勉強する時間が短い傾向にある。
- ・宿題はするが、自主的に予習・復習する習慣が確立していない児童が多い。

##### 【規範意識】

- ・「友達との約束を守っている」「人の役に立つ人間になりたい」などの設問に対して肯定的回答が多く、他者を大切にしようと思っている児童が多い。

### Ⅲ 横須賀市中学校の結果

#### 1. 教科別平均正答率結果

(%)	国 語		数 学	
	A	B	A	B
横須賀市	73.8	65.6	60.1	42.0
神奈川県	75.4	67.0	61.9	44.3
全 国	75.6	66.5	62.2	44.1

#### 2. 各教科の概要

##### 【中学校 国語】

##### <おおむね理解しているとみられる内容>

- 互いの発言を検討して自分の考えを広げること（A問題<sup>7</sup>二）  
相手の発言を自分と比較しながら聞き、自分の考えを広げることが、おおむね良好である。
- 必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと（B問題<sup>3</sup>三）  
文章を目的に応じて資料を参考にして読み、根拠を明確にして自分の考えを書くことについては、おおむね良好である。

##### <課題があるとみられる内容>

- 集めた材料を整理して文章を構成すること（A問題<sup>2</sup>二）  
複数の資料から得た情報を整理し、項目ごとの内容を整理することに課題がある。
- 文脈にあった漢字を正しく書いたり、読んだりすること（A問題<sup>9</sup>一）  
学習した漢字を文脈に沿って正しく書いたり、読んだりすることに課題がある。
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと（A問題<sup>9</sup>三ウ）  
慣用句を文や文章の中で適切に使うことに課題がある。
- 歴史的仮名遣いを読むこと（A問題<sup>9</sup>七1）  
歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。

## 【中学校 数学】

### <おおむね理解しているとみられる内容>

- 「数と式」領域の計算に関すること（A問題1（3） A問題2（2））  
正負の数の計算や文字式の計算をすることは良好である。
- 簡単な場合について確率を求めること（A問題13（2））  
確率の意味を理解し、簡単な場合について確率を求める力は良好である。
- 1次関数の意味理解に関すること（B問題2（1））  
条件を基に、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求める力は良好である。

### <課題があるとみられる内容>

- 数量の関係を文字式に表すこと（A問題2（1））  
文字を用いて、数量の関係を式に表現する力に課題がある。
- 「資料の活用」領域に関すること（A問題12（1））  
資料を整理した表から最頻値を読み取る力に課題がある。
- 与えられた情報から相対度数を求めること（B問題5（2））  
与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現する力に課題がある。

### 3. 生徒質問紙調査（中学校3年生）の結果概要

#### （1）概要

〔90%以上が肯定的な回答をした項目〕

- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる
- 学校で、友達に会うのは楽しい
- 学校の規則を守っている
- 友達との約束を守っている
- いじめはどんな理由があってもいけない
- 人の役に立つ人間になりたい

〔全国と比較して5%以上高い項目〕

- 1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う 83.9(全国 77.8)
- 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる 63.4(全国 57.7)

〔課題とみられる項目〕 \*全国平均と比較し、5%以上の差（低い）がある項目

- 毎日、同じくらいの時間に寝ている
- 携帯電話やスマートフォンを使って通話やメール、インターネットをする時間
- テレビゲームをする時間
- 月に1～3回以上図書館に行っている
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている
- 家で学校の授業の復習をしている
- 今住んでいる地域の行事に参加している
- 新聞を読んでいる
- 読書は好きである

※下線を引いた設問は小学校と同じ状況の設問

#### （2）質問紙調査からみられる傾向と課題

##### 【家庭生活・家庭での過ごし方】

- ・就寝時間が不規則ということに、やや課題がある。
- ・テレビゲームなどを行う時間が長い傾向にある。
- ・読書に対する意識に課題がある。

##### 【家庭学習】

- ・家庭で、自主的に学習する習慣が確立していない生徒が多い。

##### 【規範意識】

- ・「学校の規則を守っている」「人の役に立つ人間になりたい」などの設問に対して肯定的回答が多く、学校生活における規範意識は良好であり、また他者を大切にしようと思っている生徒が多い。

## IV 全国学力・学習状況調査の調査結果と今後の取組について

小学校においては、昨年度の結果と比較をすると、全国平均正答率との差が各教科とも縮まっています。特に、国語Bと算数Aでは、その差を大きく縮めており、学習状況の改善の傾向をみることができます。

中学校においては、昨年度の結果と比較をすると、全国平均正答率との差が広がっている教科がありますが、マイナス5ポイント以内であり、ほぼ全国並みと捉えることができます。

一方で、小中学校ともに、全国平均正答率を上回る教科はなく、学習状況に改善の傾向が見られるものの、未だ課題があり、その課題解決を図っていく必要があります。

児童生徒質問紙に関する今回の調査結果からは、小学校と中学校で同じ傾向のみられる設問がいくつかありました。

図書館の活用や読書に対する興味については、小学校、中学校ともに全国平均を大きく下回っています。このことから、横須賀市の子どもたちが図書館を活用する機会をあまりもつことがなく、読書に対する関心が低いということが明らかとなりました。市内学校においては、朝読書などの取組が推進されています。また、本年度から、子どもたちが読書に興味を持つことや、学校図書館の活用を進めることを目的として、小学校全校に学校司書を配置し、学校図書館の整備・活用の推進を行っています。

また、横須賀市の子どもたちは、学校での宿題に対する取組については良好であるものの、授業の復習や自主的な学習を計画的に取り組むということに課題があるということがわかりました。学力向上においては、子どもたちが自分の課題を把握し、その課題を解決するための学習を行っていくことが重要です。授業の内容をしっかりと理解するために、もう一度家庭学習において振り返るといった学習への意識を高めていくことが大切となります。そのためには、小学校の段階から発達段階に応じて家庭学習に取り組み、中学校まで継続していくことが必要になります。家庭学習の充実には、学校と家庭の連携が大切となります。

子どもたちの学習は中学校で終了ではなく、生涯続いていくものです。自らの状況を把握し、計画的に学ぶ姿勢は重要であり、小中学校でしっかりとその姿勢を身に付ける必要があります。

市内各学校においては、自校の課題に即した学力向上の取組が行われています。昨年度と同集団での経年変化を視点におくと、指導改善が図られ、学力向上の取組の成果が大きく表れている学校もあります。また、昨年度の学力・体力・生活意識調査の専門的分析により、学力、体力が学級集団や子どもたちの意識（自己肯定感等）とも相関があるということが明らかとなっています。

今後もこれまでの取組を継続しつつ、学力向上に向けて多角的な視点を持ち、学校と家庭、教育委員会がしっかりと連携をとり、本年度の学習状況の課題を解決するべく取組を推進していきます。